

第3回 学校運営協議会

4. 教員の授業、その他の教育活動に係る保護者からの意見の調査審議に関する事項の提出なし。

5. 令和5年度学校教育自己診断について

事務局より資料について説明

- ・「生徒指導」について、教員・保護者と生徒との間に意識の差がある。

6. スクール・ポリシーについて

- ・グラデュエーション・ポリシーの文面の書きぶりに違和感を感じる(府の捉え方)

⇒承認

7. 令和6年度学校経営計画について

- ・校長より「令和5年度 学校経営計画」について説明
- ・校長より「令和6年度 学校経営計画」について説明

⇒承認

8～11. 学校より報告

- ・学習指導室より：今年度の進路状況、1,2年生の学力の現状についての説明
- ・学年経営室より：各室の取り組みについて説明
- ・生活指導室より（保健部）：スクールカウンセラーの利用が増加している。
- ・特別活動部より：行事が充実している。
- ・企画・広報室より：中学校説明会等を工夫し、志願者数増加に繋がった。

12. 質疑応答・意見交換

Q. 発達障がいの生徒への対応は？

A. 教員で情報共有し、必要に応じて、個別対応している。

近隣でA高校やB高校等学力の均衡する学校があるが、「なぎさ」なら学びたいという生徒が増えていると感じている。

(意見)

- ・8年間関わっているが、生徒が大きく変わった。卒業式も素晴らしかった。
- ・現在の希望志願者数等を見ても、これで一安心だと感じるが、教えるということは、取り返しがきかない場合もある。今の状況に慢心せず頑張ってもらいたい。
- ・生徒指導體制について新たなフェーズに変わってきていると感じる。やらないと痛い目を見るではなくやれば楽しいというフェーズに入っていると感じる。
- ・学力層の変化が明らかに見て取れる。その点も踏まえ、合理的説明のできない不合理な校則の見直しをすべきである。